

「府中に行く」

昨日夕刻、都校長会の研究会のため、府中に行った。北千住から府中までいろいろな行き方があるが、いつもの半蔵門線に乗って渋谷へ。渋谷から京王井の頭線、明大前で乗り換えて京王線で府中に行くことにした。遠足のような長旅だ。

渋谷での乗り換えは、私たち若くない者にとって大変だ。まずは人がたくさん乗り降りする。雑踏を拒むのは年齢を重ねた証か。しかも、渋谷に行くことは稀なので、乗り換えの順路がよく分かっていない。さらに渋谷は若者の街という先入観があるためか、行き交う人々はみんな若者に見えてしまう。だから人々の歩く速度も早く感じてしまう。表示を見ながら、なんとか井の頭線の渋谷駅にたどりつく。

明大前で電車を待っていた。ここも帰宅をする人でホームには大勢の人がいた。そこで突然、上下に揺れた。電車が入線したための揺れではない。揺れを感じていないわけではないのに、ほとんどの人は何もなかったかのようにしている。でも、ここで誰かが騒いだらパニックになったのかも。昨日、午後5時9分の地震。震源の深さが約350kmの深発地震で、地震の規模はM6.1。震源地が三重県沖にもかかわらず、遠く離れた関東・東北南部で震度3から4の揺れがあった。

往復の電車の中で本を読む。夏木草介さんの「本を守ろうとする猫の話」、人間の言葉を話すトラ猫に連れられ、本をめぐる迷宮に入り込むファンタジー小説だ。作者の本を、そして読書を愛する気持ちが伝わってくる。「本は知識とか知恵とか、価値観とか世界観とか、いろいろなものを与えてくれます。知らなかったことを知ることは楽しいし、まったく新しい物の見方に出会えることはすごくわくわくすることです。でもそんなものよりもっと大切な何か大きな力があるんだって…」と続く。本のもつ力は何だろうと思ったら、ぜひ読んでみてもらいたい。往復に3時間。長いようだが、本を読んでいるとそれなりに有意義な時間のように思えてくる。鞆の隅に1冊本を入れておこう。

11月15日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 あるクラスで数学の試験の平均点は65点でした。このうち最高点の人を除いた平均点を計算すると64点となり、最低点の人を除いた平均点を計算すると66.5点になりました。ただし、最高点と最低点の差は80点でした。このクラスの人数を求めなさい。